

# 2020年宇都宮国際平和と司法研究会UIPJ学生研究報告会 紛争から持続可能な平和への試み



© The Zimbabwe Mail “Ex-UN chief Annan warns Kenyan leaders on rhetoric, actions”

( <https://www.thezimbabwemail.com/world-news/ex-un-chief-annan-warns-kenyan-leaders-rhetoric-actions/> )

日時：2020年9月23日（水） 13時00分—15時00分

場所：オンライン講演会（於：宇都宮大学）

➤ プログラム

—第1部—

司会：福原玲於茄（国際4年）

基調報告「武力紛争の調停」

**報告者：中東友幸**

東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程/日本学術振興会(DC2)

学生コメンテーター：横山友輝（国際4年）、井手之上健太（国際4年）

—第2部—

学生報告① 山田夏菜子（国際3年）

「難民キャンプにおける障害者支援のあり方

—南スーダンからウガンダへの避難民を事例として—」

学生報告② アティラ・ナシル、榊原彩加（国際3年）

「ロヒンギャ問題から見る不処罰文化の終止という国際規範」

お申し込み先：<https://forms.gle/Pg8CZTfAKo7bTpjL7>

本研究報告会は、藤井広重研究室が参加している「Global Week to #Act4SDGs」のキャンペーンの一環として開催します。また、2020年度 宇都宮大学イベント等支援経費を頂いております。

問い合わせ先：藤井広重 ([fujiih@cc.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:fujiih@cc.utsunomiya-u.ac.jp))

研究室HP：<https://www.fujiih.com/> UIPJ：<https://profile.ameba.jp/ameba/uipj>